

2018 年度上期 内部監査室 原子力監査グループ 活動状況報告

内部監査室 原子力監査グループ

1. 業務品質監査 (2018 年度上期分)

(1) 定期

監査対象部門	監査実施期間 (2018年9月末現在)	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項 等
東通原子力建設所	2018.6.5 ~ 6.28	新規基準に対応した発電所設備レイアウトを検討するための地質・地震関係知見の拡充, 並びに文書管理や教育・訓練等について, 品質保証活動が適切に実施されているかを確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 なし 【良好事例】 なし
原子力運営管理部	2018.7.17 ~ 継続中	原子力保全統合マネジメントシステムのシステム開発の管理業務等, 並びに文書管理や教育・訓練等について, 品質保証活動が適切に実施されているかを確認中。	監査継続中
内部監査室	2018.9.4 ~ 継続中	業務品質監査(内部監査)業務, 並びに文書管理や教育・訓練等について, 品質保証活動が適切に実施されているかを確認中。	監査継続中
原子力資材調達センター	2018.9.12 ~ 継続中	最適なサプライチェーンの構築・人材育成に向けた定義やPDCAサイクル設定による最も費用対効果の高い調達戦略に向けた業務, 並びに文書管理や教育・訓練等について, 品質保証活動が適切に実施されているかを確認中。	監査継続中

【指摘事項】: 法令や社内マニュアル等に照らして不適合な事象

【要望事項】: 不適合事象ではないが, そのまま放置すると不適合となるおそれがあり, 改善が望ましい事象

【良好事例】: 他の発電所等においても参考になるような優れた活動等

(2) テーマ

件名	監査実施期間 (2018年9月末現在)	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項 等
データ改ざん等を防止する仕組みの有効性評価と調達管理業務の品質確保の状況	2018.8.7 ~ 9.28	原子力発電設備のデータ改ざん等に対する再発防止対策の有効性評価, 並びに調達業務の品質確保の向上につながる取り組み状況について, 組織横断的に確認した。	【指摘事項】 なし 【要望事項】 ① 運転記録類は, 客観的に活動を説明するための資料であることから, 記録の種類および保管場所を明確にして管理された状態にすること。 【良好事例】 ① 2002年8月および2006年11月に発生した「不適切な取り扱い」を忘れないために柏崎刈羽原子力発電所では, 当時の所員の活動等も記載した独自の資料を作成し, 企業倫理活動で活用していた。
法令遵守の徹底と仕組みの有効性確認について	2018.9.5 ~ 継続中	法令遵守の徹底と仕組みの構築に関する業務について, 組織横断的に確認中。	監査継続中

2. リスク監査: 対象なし

3. 原子力特別監査

件名	監査実施期間 (2018年9月末現在)	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項等
柏崎刈羽原子力発電所の「ISO 9001」規格認証の2015年版移行に向けた適合性確認	2018.5.9 ~ 6.20	ISO 9001:2015で強化された要求事項への対応状況、並びに柏崎刈羽原子力発電所への原子力・立地本部の業務支援が的確に実施されているかについて、組織横断的に確認した。	<p>【指摘事項】なし</p> <p>【要望事項】</p> <p>① 業務計画策定の際に、ISO 9001:2015の要求するプロセスに則って業務が遂行できるよう、マニュアルを改訂すること。</p> <p>② 組織全体としてISO 9001:2015への適合性を確実にするため、教育・研修活動等の展開により、十分な理解・浸透を図ること。</p> <p>③ 外部提供者のパフォーマンス、リスクおよび機会への取組みの有効性をマネジメントレビューのインプット項目として考慮することがISO 9001:2015において要求されていることから、本要求事項に対応できるよう、マニュアルを改訂すること。</p> <p>【良好事例】</p> <p>① グループの業務計画策定に際し、自グループについてのSWOT分析を実施する活動は、リスクと機会の洗い出しのみならず、その前提となる内部・外部の課題を特定するのにも極めて有用であり、ISO 9001:2015の要求事項を満足するために効果的だった。</p>

4. 2017年度下期報告時点、監査継続中等で監査結果が確定していなかったもの：対象なし

以上